

平成26年度 第3回学都仙台コンソーシアム運営委員会議事要録

1. 日時

平成26年12月11日(木) 10時30分～12時00分

2. 場所

復興大学本部 (AERオフィスフロア 7階)

3. 出席者

宮城光信運営委員長(東北工業大学)、三友紀男運営副委員長(仙台青葉学院短期大学)、水田恵三委員(尚絅学院大学)、木村昭代委員(聖和学園短期大学)、白川充委員(仙台白百合女子大学)、千葉昭彦委員<企画部会長>(東北学院大学)、北折整委員(東北生活文化大学・短期大学部)、佐藤義幸委員<広報部会長>(東北大学)、鈴木智彦氏(東北福祉大学)(松江克彦委員代理)、菅原康弘氏(東北文化学園大学)(三木賢治委員代理)、中井滋委員<サテライトキャンパス部会長>(宮城教育大学)、村上金男委員(宮城誠真短期大学)、笹井弘之委員<単位互換部会長>(宮城大学)、吉田徹氏(仙台高等専門学校)(内海康雄委員代理)、中村芳朗委員(仙台観光コンベンション協会)、押谷祐子委員(東北多文化アカデミー)、八島和彦委員(みやぎ工業会)、木戸要介氏(宮城県)(千葉章委員代理)、鈴木逸人氏(仙台市)(村上薫委員代理)、

以上 「順不同」

(委員数27名/出席数19名)

4. 議事

◆審議事項

1. 遠隔授業システム保守契約の取扱いについて

笹井単位互換部会長より、遠隔授業システム保守契約の取扱いについて配付資料に基づき、説明が行われた後、事務局より補足説明が行われた。

今年度については、サーバーの運用を停止する事について審議の結果、承認された。また、今後の遠隔授業の在り方については、単位互換部会の事業改善でも検討の上、提案して頂く事で了承された。

2. 学都仙台コンソーシアムの事業改善について

事務局より、学都仙台コンソーシアムの事業改善について配付資料に基づき、説明が行われた。三役等の打合せを踏まえた提案として、平成28年度に向けての中長期の「今後の方向性を明確化」して行く事とし、運営委員会でも検討して行く事で承認された。

なお、今後の方向性としての事業改善として、各委員より、教養教育の連携、復興テーマ、サテライトキャンパス公開講座の拡充の各事業の実施について提案された。

3. 平成27年度事業計画および予算の作成と規約の見直しについて

事務局より、平成27年度の事業計画および予算の作成と規約の見直しについて、配付資料に基づき、説明が行われた。予算作成スケジュール及び会費に関する規約の別表の下部に一文を追加する事の改定について、審議の結果、承認された。

4. 後援名義使用の申請について

東北多文化アカデミーの松崎事務長より、後援名義の使用の申請について、配付資料に基づき、説明が行われた。審議の結果、承認された。

◆報告事項

1. 各事業部会の活動状況報告について

各事業部会長より、配付資料に基づき、各部会の活動報告が行われた。

◆その他

1. 次回、第4回運営委員会を1月下旬に、第18回定期総会を2月中旬に開催する予定である旨、事務局より報告があった。
2. 仙台市の鈴木プロジェクト推進課主幹より、まちづくり政策局に関わる情報提供について依頼があった。

以 上